

## PRAEVIDENTIA DAILY (7月7日)

## 昨日までの世界：米長期金利反落に遅れてドル小反落

先週金曜は、米国休場もあって殆ど材料がなかったが、敢えて言えば前日の米雇用統計発表後、米長期債利回りが一旦上昇した後に反落していたにも拘らず、ドル/円は反落せず高止まりしていたことから、一日遅れて102.20円から102円丁度近辺へ小反落した。その他通貨は、ユーロやNZドルが対米ドルで続落した一方、カナダドルは反落、豪ドルは反発するなどまちまちで、整合的な動きはみられていない。ユーロ/ポンドはユーロ続落を受けて一時0.7919ポンドへ続落、年初来安値の更新が続いている。

## 主要通貨ペアの前営業日比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化

|          | 変化率  | 米2年金利差    | 米2年金利  | 日2年金利 | 米日10年金利差   | 米10年金利  | 日10年金利 | 米株価  | 日株価   | 原油WTI   | 原油Brent |
|----------|------|-----------|--------|-------|------------|---------|--------|------|-------|---------|---------|
| ドル/円     | -0.1 | +0.00     | +0.00  | -0.00 | -0.00      | +0.00   | +0.00  | +0.0 | +0.6  | +0.0    | -0.3    |
|          | 変化率  | 独米2年金利差   | 独2年金利  | 米2年金利 | 独米10年金利差   | 独10年金利  | 米10年金利 | 欧株価  | 米株価   | 原油Brent | 西伊の対独格差 |
| ユーロ/ドル   | -0.1 | -0.00     | -0.00  | +0.00 | -0.02      | -0.02   | +0.00  | -0.6 | +0.0  | -0.3    | +0.02   |
|          | 変化率  | 英米2年金利差   | 英2年金利  | 米2年金利 | 英米10年金利差   | 英10年金利  | 米10年金利 | 英株価  | 米株価   |         |         |
| ポンド/ドル   | +0.0 | +0.00     | +0.00  | +0.00 | +0.01      | +0.01   | +0.00  | +0.0 | +0.0  |         |         |
|          | 変化率  | 豪米2年金利差   | 豪2年金利  | 米2年金利 | 豪米10年金利差   | 豪10年金利  | 米10年金利 | 米株価  | 中国株価  | CRB     |         |
| 豪ドル/米ドル  | +0.2 | +0.03     | +0.03  | +0.00 | +0.05      | +0.05   | +0.00  | +0.0 | -0.2  | +0.0    |         |
|          | 変化率  | NZ-米2年金利差 | NZ2年金利 | 米2年金利 | NZ-米10年金利差 | NZ10年金利 | 米10年金利 | 米株価  | 中国株価  | CRB     |         |
| NZドル/米ドル | -0.2 | +0.00     | +0.00  | +0.00 | +0.03      | +0.03   | +0.00  | +0.0 | -0.2  | +0.0    |         |
|          | 変化率  | 米加2年金利差   | 米2年金利  | 加2年金利 | 米加10年金利差   | 米10年金利  | 加10年金利 | 米株価  | 原油WTI | CRB     |         |
| 米ドル/加ドル  | +0.2 | -0.00     | +0.00  | +0.00 | -0.01      | +0.00   | +0.01  | +0.0 | +0.0  | +0.0    |         |

(注) 為替相場、株価および商品価格は前営業日比変化率、金利は前営業日比変化幅(%ポイント)。

## 主要通貨ペアの前週比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化(先週1週間)

|          | 変化率  | 米2年金利差    | 米2年金利  | 日2年金利 | 米日10年金利差   | 米10年金利  | 日10年金利 | 米株価  | 日株価  | 原油WTI   | 原油Brent |
|----------|------|-----------|--------|-------|------------|---------|--------|------|------|---------|---------|
| ドル/円     | +0.6 | +0.05     | +0.05  | -0.01 | +0.10      | +0.10   | +0.01  | +1.2 | +2.3 | -1.6    | -2.3    |
|          | 変化率  | 独米2年金利差   | 独2年金利  | 米2年金利 | 独米10年金利差   | 独10年金利  | 米10年金利 | 欧株価  | 米株価  | 原油Brent | 西伊の対独格差 |
| ユーロ/ドル   | -0.4 | -0.06     | -0.02  | +0.05 | -0.10      | +0.00   | +0.10  | +1.2 | +1.2 | -2.3    | +0.02   |
|          | 変化率  | 豪米2年金利差   | 豪2年金利  | 米2年金利 | 豪米10年金利差   | 豪10年金利  | 米10年金利 | 世界株価 | 米株価  | 中国株価    | CRB     |
| 豪ドル/米ドル  | -0.7 | -0.03     | +0.02  | +0.05 | -0.06      | +0.04   | +0.10  | +1.3 | +1.2 | +1.1    | -1.3    |
|          | 変化率  | NZ-米2年金利差 | NZ2年金利 | 米2年金利 | NZ-米10年金利差 | NZ10年金利 | 米10年金利 | 世界株価 | 米株価  | 中国株価    | CRB     |
| NZドル/米ドル | -0.4 | +0.01     | +0.06  | +0.05 | -0.03      | +0.07   | +0.10  | +1.3 | +1.2 | +1.1    | -1.3    |
|          | 変化率  | 英米2年金利差   | 英2年金利  | 米2年金利 | 英米10年金利差   | 英10年金利  | 米10年金利 | 英株価  | 米株価  |         |         |
| ポンド/ドル   | +0.7 | +0.01     | +0.06  | +0.05 | +0.01      | +0.12   | +0.10  | +1.6 | +1.2 |         |         |
|          | 変化率  | 米加2年金利差   | 米2年金利  | 加2年金利 | 米加10年金利差   | 米10年金利  | 加10年金利 | 世界株価 | 米株価  | 原油WTI   | CRB     |
| 米ドル/加ドル  | -0.1 | +0.03     | +0.05  | +0.02 | +0.02      | +0.10   | +0.08  | +1.3 | +1.2 | -1.6    | -1.3    |

(注) 為替相場、株価および商品価格は前週比変化率、金利は前週比変化幅(%ポイント)。

## きょうの高慢な偏見：株価睨みかトレンド追隨か

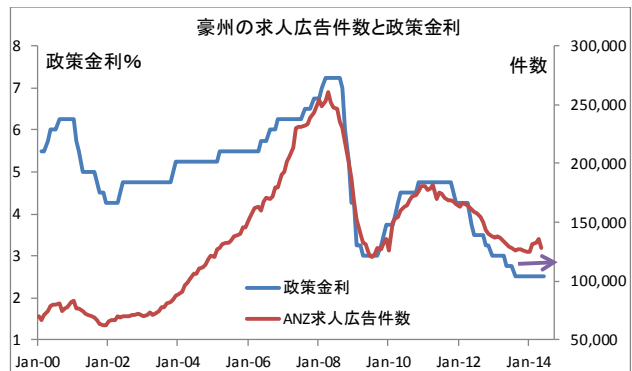
きょうの注目通貨：GBP/USD ↑ EUR/GBP ↓、USD/CAD ↓

| きょうの指標、イベント       | 時刻    | 前期    | 市場予想  | 備考        |
|-------------------|-------|-------|-------|-----------|
| 黒田日銀総裁記者会見        | 9:30  |       |       | 支店長会議冒頭挨拶 |
| 豪6月ANZ求人広告件数・前月比  | 10:30 | -5.6% |       |           |
| ドイツ5月鉱工業生産・前月比    | 15:00 | +0.2% | 0.0%  |           |
| カナダ5月住宅建設許可件数・前月比 | 21:30 | +1.1% | +2.0% |           |
| ユーログループ会合         | 22:00 |       |       |           |

(出所) プレビデンティア・ストラテジー作成

本日も材料が少ないことから、主要通貨は株価を睨めた展開となるか（ポンド/円、ドル/円、リラ/円、ランド/円が米株価との連動性が高い。4日付の当レポートを参照）、あるいはこれまでのトレンドを追隨する動きとなる可能性がある。最近トレンドが明確になっている通貨ペアとしては、ポンド/ドルの上昇傾向、およびユーロ/ポンドと米ドル/カナダドルの下落傾向がある。

相場を動かしそうな材料を敢えて挙げるならば豪州のANZ求人広告件数がある。豪ANZ銀行が作成・公表しているものだが、過去RBA政策金利との連動性が非常に高く、市場の注目度も比較的高い。市場予想が出ていないため、前月比がプラスか、マイナスかで豪ドルは上下するだろう。この求人広告件数が明確な増加基調になると、景気改善・労働市場の需給のタイト化・賃金上昇圧力・インフレ上昇圧力も伴い、市場の利上げ開始期待が高まる可能性があり、実際、前年比でみると昨年末以降の底入れが鮮明となっている（下図の左を参照）。もっとも、前年比でまだマイナス圏にあるほか、件数の水準（下図の右を参照）もまだ明確な増加基調とはなっていない。RBAも現在のところ今年後半の鉱業セクター投資減少の景気への悪影響を見極めたいとの姿勢が強く、求人広告件数の減少一服にも拘らず中立姿勢を崩しておらず、多少の増加では目先の利上げには繋がらないだろう。



## ディスクレイマー

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、全てお客様自身でご判断下さいませようよろしくお願い申し上げます。

当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。

当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。当資料は購読者向けに送付されたものであり、購読者以外への転送を禁じます。

プレビデンティア・ストラテジー株式会社  
 金融商品取引業者（投資助言・代理業）関東財務局長（金商）第2733号  
 一般社団法人 日本投資顧問業協会 会員番号 012-02641